

いつも、インシデント報告ありがとうございます

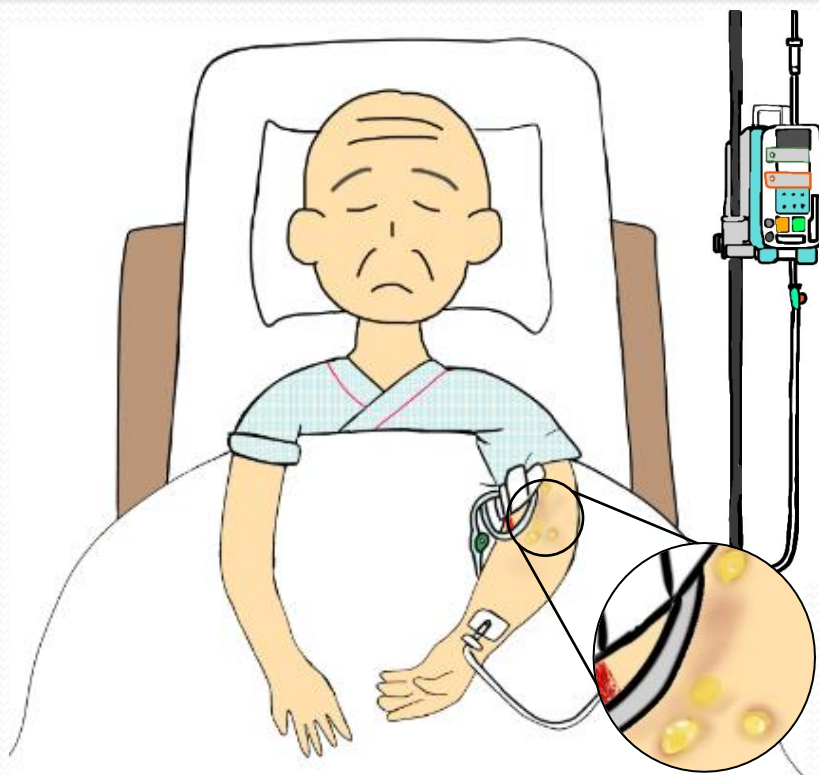
2025.04.22

## 京大病院医療安全情報147

### 【成人の輸液の血管外漏出】

成人に輸液を投与中、血管外漏出に気付くのが遅れ、治療を要した事例が報告されていますので共有します。

**事例** 70歳代患者が入院。左肘窩の静脈路から輸液をしていたところ、刺入部のドレッシング材が剥がれており、小さな水疱が多数あったので抜針した。同側の下流に留置されていた静脈路から輸液を再開した。約5時間後、水疱が拡大し増加、びらん、色調不良、左前胸部～左前腕まで緊満した状態で発見。CK 749U/L（基準値 59～248）でありコンパートメント症候群と診断、減張切開術が行われた。患者は過活動型せん妄状態であり、痛みや腫れに関する発言はなく、手袋ミトンを装着していた。輸液ポンプを使って輸液していた。



# インシデント報告に基づいた対策です

## 京大病院医療安全情報147

- 水疱
- 腫脹の左右差 があれば点滴漏れを疑う



### 主な背景

- 輸液ポンプを使っていたので、血管外に漏れた輸液が皮下組織に広がり続けた。
- フィルムドレッシング材が剥がれており、テープかぶれで「水疱」が形成されたと思った。
- 前腕浮腫・手掌の色調不良が、手袋ミトンによるものだと思った（点滴漏れによる腫脹や色調不良だと思わなかった）。
- 肘窩の静脈ラインを抜針後、さらに下流側に留置されていた静脈路から輸液した。
- 過活動せん妄状態であり、医療者が落ちついて患者を観察することが難しかった。

### 【早期発見と悪化させないための対策】

1. 血管外漏出で**水疱ができる**ことを認識する。
2. 刺入部周囲の浮腫は、**腕全体や左右差を観察**する。
3. 腫脹（浮腫）が著明な場合は安静を保つために。
  - **腫脹部位よりも下流側に静脈ラインを留置しない。**
  - **既に留置されている下流側の静脈ラインは抜針する。**